



GOGO! 宮崎労働局

発行：宮崎労働局
宮崎市橘通東3-1-22
宮崎合同庁舎
TEL0985(38)8821
FAX0985(38)5028

受講によるスキルアップを推進

職業訓練受講の働きかけ

経済団体等4団体に取り組みへの協力を要請

宮崎県経営者協会
河野洋一専務理事



宮崎県商工会議所連合会
甲斐正文専務理事

宮崎県社会保険労務士会
酒井春江会長



日本労働組合総連合会宮崎県
連合会
中川育江会長

田中労働局長は、職業訓練を通じた求職者の方への転職や再就職に向けた支援を積極的に進めるため、4月26日に宮崎県経営者協会、宮崎県商工会議所連合会、宮崎県社会保険労務士会を、4月28日には連合宮崎を訪問し、転職や再就職を目指す方々に職業訓練の受講を広く働きかける取組について、協力要請を行いました。

新型コロナウイルスの感染拡大が再び全国的に広がる中、宮崎県でも独自の緊急事態宣言が発令され、特に宿泊や飲食サービス業が苦しい状況である一方、医療、福祉や建設業等では、依然として人手不足が続いています。

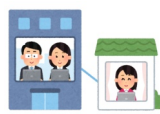
雇用調整助成金の特例措置が段階的に縮小される方針の中、職業訓練の受講によるスキルアップは、求職者の方の転職や再就職に有効な手段となる他、人手不足分野への職種転換にも資するものとなりますので、宮崎労働局としては、今後も求職者の方々への職業訓練の受講を積極的に推進していきます。

ポストコロナ新しい生活様式に対応した働き方 テレワークの導入を推進

テレワークは時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方であり、子育てや介護と仕事の両立手段となるとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点からも有効と言えます。

テレワーク導入のメリットとして、企業側には「遠隔地の優秀な人材の確保や雇用の継続」、労働者側にも「業務効率化・時間外労働の削減」「家族と過ごす時間が増えた」などがあります。

しかし、宮崎県内における導入は約2割に止まっており、政府が目標に掲げる7割には程遠い状況です。この背景として「仕事と仕事以外の切り分けが困難」「長時間労働になり易い」などの懸念や課題が導入への妨げになっていると考えられます。



このような状況を踏まえ、3月に「テレワークにおける適切な労務管理実施のためのガイドライン」が改定されました。また、新規導入の支援策として、「人材確保等支援助成金（テレワークコース）」において対象となる取組を行った場合、機器導入費用等の助成を受けることができる場合があります。

導入に関心がある方は「雇用環境・均等室」又は「みやざき働き方改革推進支援センター」へお問い合わせください。

【お問い合わせ先】
 みやざき働き方改革推進支援センター
 TEL 0120-975-264
 宮崎労働局 雇用環境・均等室
 TEL 0985-38-8821

安心して働きたい!

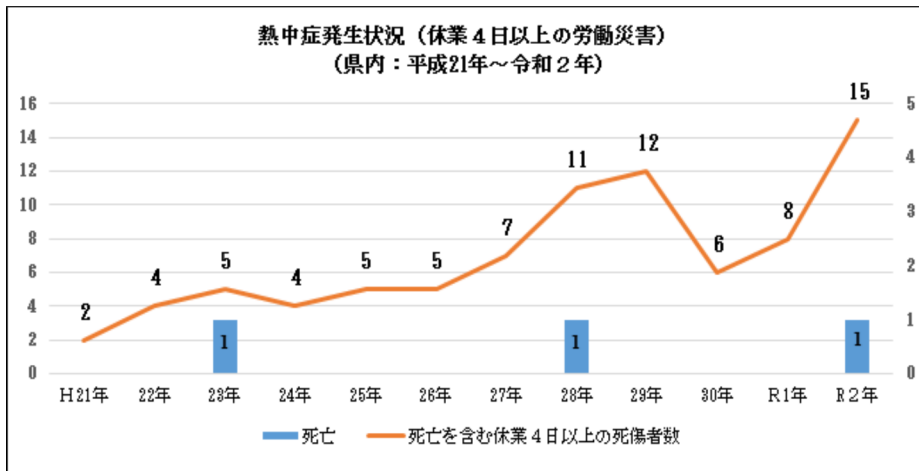
令和3年度
申告と納付はお早めに
労働保険の年度更新
労災保険・雇用保険

6/1(火)~7/12(月)

労働保険の年度更新は、カンタン・便利な電子申請で!

仕事中の熱中症に注意

コロナ対策をしながら熱中症に備えよう



令和3年度 応募前ジュニアワークフェア

- 県央：令和3年7月5日（月） 10:30～12:15
【参加企業80社、場所：シーガイア】 13:45～15:30
- 都城：令和3年7月7日（水） 13:30～15:15
【参加企業48社、場所：都城早水体育館】
- 県北：令和3年7月8日（木） 13:30～15:15
【参加企業48社、場所：延岡市民体育館】
- 小林：令和3年7月9日（金） 13:30～15:15
【参加企業12社、場所：ガーデンベルス小林】

（※）新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に鑑み、『新しい生活様式』に基づいた対策の下で実施することを予定しておりますが、感染拡大の状況等によっては、やむを得ず中止とさせていただきます場合がありますので、予めご了承ください。



宮崎労働局・ハロワーク・宮崎県・宮崎県教育庁

昨年、全国の職場で発生した熱中症による被災者は919名（休業4日以上）で、そのうち19名が亡くなりました。宮崎県内においても休業4日以上死傷者数は前年の8名を大幅に上回る15名となり、うち1名が亡くなっています。

また、県内では不休のものを含めると熱中症により医療機関で治療を受けた方は133名に上り、前年の108名を大幅に上回りました。

業種別では、建設業が65人、農林業が25人、製造業が15人で、この3業種で全体の約8割を占めています。

月別の発生件数では、8月の発生が83人で全体の約6割以上を占めており、特に昨年は、お盆明けの3日間（8月17日～19日）に集中して

います。最高気温が連日33度以上であったこと、長期休暇明けで熱への順化が低下していたこと等が関係しているものと思われます。

時間帯別では、気温が上昇する10時から11時台と14時から16時台の発生割合が高くなっています。WBGT値が高い場合は単独作業を控え、作業の中止、こまめに休憩をとるなどの工夫が必要です。

※WBGT値（湿球黒球温度）は、熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標で、単位は気温と同じ摂氏度（℃）で示されますが、その値は気温とは異なります。WBGT値は人体と外気との熱のやりとり（熱収支）に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度、②日射・輻射など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。

全国安全週間 準備期間 (6月1日～30日)

【令和3年スローガン】

「持続可能な安全管理

未来へつなぐ安全職場」



STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン

令和3年5月～9月

熱中症予防対策の徹底を図ろう

職場における熱中症により、毎年約20人が亡くなり、約1,000人が4日以上仕事を休んでいます。夏季を中心に「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を展開し、職場での熱中症予防に取り組みましょう!

事業場では、期間ごとの実施事項に重点的に取り組んでください。

●実施期間：令和3年5月1日から9月30日まで（準備期間4月、重点取組期間7月）



厚生労働省、宮崎労働局では、5月から9月まで「クールワークキャンペーン」を展開しています。

熱中症予防対策として、①就業場所のWBGT値の把握及び低減対策の実施②熱への順化期間の設定③労働者の健康状態の把握や日常の健康管理④緊急処置等に関する教育等について適切に実施することが重要です。

また、コロナウイルス感染症防止

対策によるマスク着用の機会が増えています。マスクを着用すると皮膚からの熱が逃げにくくなったり、気づかぬうちに脱水になるなど体温調節がしづらくなることから熱中症のリスクが高まります。周囲に人がいない等、マスクを外してもよい場面や場所等を明確にし、関係労働者に周知しておくことも大切です。

